

前橋市議会議員

絆

主役は市民!

# 細野勝昭 活動報告

2021年(令和3年)新年号/発行:ほその会 前橋市文京町1-45-3



# 迎春

新年あけまして

おめでと〜うございます

お元気で爽やかに

新春をお迎えのことと

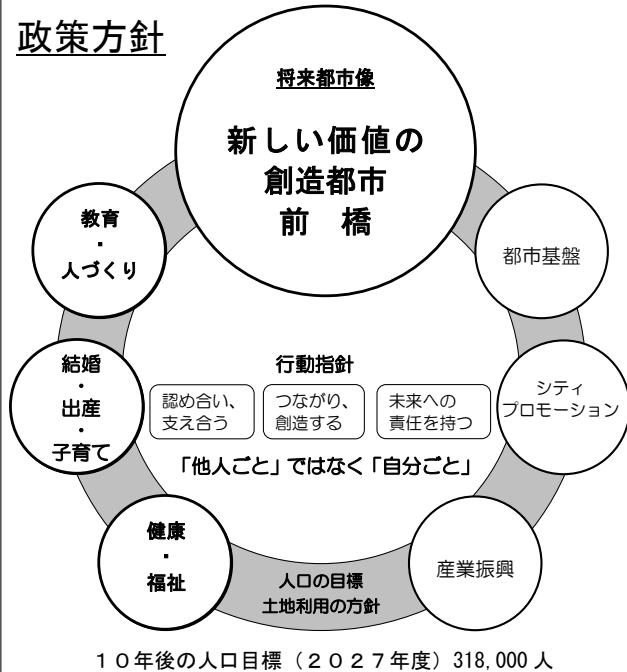
拝察致します



<第7次総合計画 基本構想の全体イメージ図>

計画期間:2018~2027年度の10年間

## 政策方針



## ビジョン

めぶく。

~良いものが育つまち (where good things grow.) ~

昨年は、年初から新型コロナウイルス感染症の問題が発生、議会活動・地域活動など多くの行事が中止・縮小を余儀なくされております。特に、教育・子育て・医療・介護・産業政策(雇用と就労)などに係る諸問題については計り知れず、極めて深刻な状況と言えます。12月19日現在、本県の感染者数は1897人、内本市の感染者数は276人を数えるに至っている。

このような状況の中、県独自の警戒度は、最も深刻な「4」に引き上げられ「不要不急」の外出自粛要請が出されるなど、その影響は文化的な最低限の生活を脅かす状況になっている。

新型コロナウイルス感染症の関係で失業した方、廃業や倒産の危機にある方など極めて厳しい生活環境にあり、様々な現場で感染の不安を感じ

ながら働いている人も沢山います。

一方、新型コロナウイルス感染症を巡っては、全国的に感染者やその家族・濃厚接触者・医療従事者らが職場・学校・地域で不当な扱いを受けたというケースが相次いでいると云われており、差別・偏見・誹謗中傷などあつてはならないことだと考えています。

第四回定例会が11月26日から開催され、補正予算審議では、新型コロナウイルス感染症対応関係予算が可決しました。

また現在、「群馬県文化の殿堂」である群馬県民会館の存続を求める意見書を所属党派「市民フォーラム」として提出し、賛成多数で可決致しました。県に対して群馬県民会館の存続を強く働きかけをしていきます。

令和3年1月27日告示で前橋市議会議員選挙が施行されます。私は、平成5年2月当選以来、皆様に支えていただき、7期28年の議員活動を務めさせていただいております。皆様には、言葉に尽くせない大変なお世話になりましたこと、心より感謝と御礼を申し上げます。この辺で一



つの区切りを付けて、これからは今までの経験を活かし、一市民として地域活動に取り組んでいきたいとの思いから、勇退する決断をいたしました。議員を辞めた後でも、長年議員として培ってきた経験を活かし行政とのパイプ役を果たしていく所存です。



次期選挙には、先の市議補選で当選された現職の「入沢まゆ子」氏(旧姓は「北澤」、実家は文京町一丁目、息子さんは五中の一年生)が出馬されます。地元候補者として応援したいと思いますので、地域の皆様のご支援をよろしくお願い致します。(事務所は、文京町四丁目7-34イシイハイツ)

入沢市議は「子供食堂・子供の居場所づくり」などの経験から子育てや教育に関する諸問題に取り組んでおります。是非、地域づくりを精力的に取り組んでいただきたく期待をしております。更に、本市が推進している「女性活躍推進計画」にも積極的に参画していただきたいと思います。

私も議員としての任期もありますので、残された時間を精力的に活動してまいりますので、ご支援をよろしくお願い致します。

細野勝昭 拝

第4回(12月)定例会  
総括質問(抜粋)

\*新型コロナウイルス禍での  
誹謗・中傷について

・新型コロナウイルスに感染した方々、その家族、医療従事者などに対する差別・偏見・誹謗中傷などは、あつてはならないことだと考えます。そこで本市の差別・偏見・誹謗中傷などの実態について、更に、その対応について伺います。

・藤岡市は「誰でも新型コロナウイルスの患者になる可能性がある。感染しても安心して生活できる環境整備が求められている」ということから「市感染症患者等の人権擁護に関する条例」制定に向けた取り組みを進めており、12月議会に提出されるとのこと。県でも、県民が被害者にも加害者にもなることなく、自由かつ活発に情報を収集・発信し、インターネットの恩恵を享受できる安全で安心な社会を実現するため、条例を制定されるようですが、本市の考え方について伺います。



\*まちの安全・安心について

・所管としては警察・飲食店組合・行政との連携でない、まちの安全・安心は確保されないと思われますが、意見交換などの連携はなされているのか伺います。

・前橋市の「防犯パトロール」車両が、夜のまちなかを走行しておりますが、何の目的で走行されているのか、走行の際見られる「まちの状況」について、どのような報告をされているのか、また報告されているとすれば、どのような活用と具体的なアクションを取られているのか伺います。

\*第七次前橋総合計画「ジョブセンターまえばし」による就労支援について

・「ジョブセンターまえばし」による就労支援について、特に地域経営という視点から様々な広告媒体を使って認知度を高め、利用者一人ひとりに合った就職支援が図られており、活動の成果として認知度が高まったとありますが、具体的な数値で表現できなにか伺います。

・2019年の就職決定者632人が市内に就職されておりますが、その雇用形態について、正規・非正規・その他のような



総括質問をする細野議員

内訳になっているのか伺います。

・課題や今後の方向性についてですが、今日のコロナ禍の影響により雇用環境も大きく様変わりし、雇用の落ち込みは深刻さを増し、「ジョブセンターまえばし」による就労支援者の急増が懸念されます。また、市内の大学生に就職支援を活用してもらえるよう、大学側に働きかけていくとのことですが、現状を申し上げますと、内定率の下落により、就職活動にも大きな影響をきたしており、「就職氷河期」などという言葉が叫ばれております。すでに多くの相談が寄せられていると思われませんが、具体的には、マンパワー含めどのような体制で臨まれるのか、さらに高校生に対しても同様な対応が必要と考えますが見解を伺います。

\*若者の定着促進について

・2019年の取り組みの中で、約4ヶ月の長期インターンシップを実施し、6人の学生が市役所各部署で実習を行っておりますが、その狙いはどこにあるのか、さらに配置された部署や、また、実習の成果はどのような形で行政に反映されてゆくのか伺います。

\*駅北口の整備について

・前橋駅の位置付けは、「県都まえばし」の玄関口でもあり、今では「水と緑と詩のまち」というのが前橋市の代名詞となっておりますが、かつては「生糸のまち」として「上毛かるた」には「県都前橋、生糸の町」とも読まれていることもあり、それにふさわしい看板となるような広告塔が必要と考えます。そこで、岡本太郎作品の「太陽の鐘」が広瀬川河畔に設置された経緯及び、前橋駅北口ロータリーへの移設に対する当局の見解を伺います。

・「太陽の鐘」は前橋市に寄贈されたものであり、寄贈された方の了解が不可欠と思われませんが、岡本太郎作品が、「県都まえばし」の玄関口で「凜として」輝くことに対して広告塔としての役割は果たされるものと思われませんが、重ねて見解を伺います。

市政に関するご意見・ご要望がありましたらご連絡ください



自宅事務所  
〒371-0801  
前橋市文京町1-45-3  
TEL: 027-221-2208  
FAX: 027-221-2279  
携 帯: 090-3314-6881

議会事務局 〒371-0026  
前橋市大手町2-12-1  
TEL: 027-224-1111  
所属 会派: 市民フォーラム  
所属委員会: 建設水道常任委員会・委員